

和歌山盲学校 令和3年度 第2回学校運営協議会記録

開催日時：令和3年11月24日(水)14:30～15:00 和歌山盲学校会議室

出席者：委員7名（代理出席1名） 傍聴人（本校職員等）6人

【議題等】

- 学校見学
- 報告「本校の生徒会活動について」
- 議題「きのくにアイねっと（和歌山県版スマートサイト）について」

【内容】

- 学校見学
 - ・委員より感想・質問
 - 「現在、視覚障害以外の障害を併せ有する生徒も在籍しているか？」
⇒現在、幼小中学部では約半数が重複障害である。
 - 「職業としてあんま師やマッサージ師は減っていないと思うが、理療専門部の生徒が減少している理由は？」
⇒国家資格を有する必要がない「リラクゼーション」等の店が増えている。また、あん摩師等の国家試験も年々難しくなっていることも理由の一つと考えられる。
 - 「就学前の教育相談の状況は？」
⇒3歳未満のひよこ教室対象者は4人。
- 報告「本校の生徒会活動について」
(報告概要)
 - 「今年度、本校の生徒が10年ぶりに全国盲学校弁論大会への出場を果たした。弁論大会は、メッセージを伝えるだけでなく、自分の視覚障害と向き合う内容が多く、生徒にとっても大変有用な機会である。(全国大会に出場した生徒の弁論の様子について動画視聴)」
 - 「中高生徒会活動では地域や校内の『つながり』をテーマに古着回収による子ども食堂の支援活動や点字紙を再利用したポチ袋作成などに取り組んでいる。できることをできる人が支援する、ということを生徒とも共有し、取組を進めている。」
- ・委員より感想
 - 「弁論大会の動画を見て、前向きに考える大切さを感じた。生徒会活動は、自分たちの活動がどんなふうに役に立っているかを実感できる活動であり、すばらしい。」
- 議題 きのくにアイねっとについて
(協議内容)
 - HPの効果的な活用に向けて（新着情報の掲載内容・方法について）
⇒会長より「新たなことをするときには、いろいろな課題が出る。よい情報を発信していくために知恵を出していかなければ。活動を止めることなく、少しでも進んでいってほしい」と発言。
 - ⇒委員から「視覚障害の支援者や関係者には盲学校について理解してもらう必要がある」との発言もあった。

※次回は2月頃開催することを確認